

# 平成29年度 各教科、領域等における相双教育事務所指導の重点

相双教育事務所

## ＜ 幼 稚 園 ＞

- ◎ 主体的な活動としての遊びを通して、幼児一人一人の健全な心身の基礎を培うとともに発達や学びの連続性を踏まえた指導の充実を図る。
- ・ 幼児理解に基づく計画的な環境の構成と遊びを中心とした総合的な指導の工夫
  - ・ 家庭や地域社会等との連携を生かした特色ある幼稚園づくりの工夫
  - ・ 発達段階や地域の実態を考慮した安全に関する指導の工夫
  - ・ 幼稚園運動指針に基づき、進んで運動に取り組む指導の工夫

## ＜ 小 学 校 ＞

### 【国 語】

- ◎ 適切な言語活動を効果的に位置付け、各教科・領域等実生活で活用できる言語能力を身に付ける指導を工夫する。
- ・ 身に付けたい言語能力を明確にし、課題解決に向けた言語活動の設定
  - ・ 自分の考えを深めたり、広げたりすることができる学習課題や発問、練り上げや交流の場の工夫
  - ・ 理由や根拠を明確にして自分の考えを表現することができる指導の工夫
  - ・ 言語活動の特徴を生かした評価規準の設定と評価方法の工夫改善

### 【社 会】

- ◎ 児童一人一人が明確な問題意識をもち、見通しを立てて解決していく問題解決的な学習を一層充実させる。
- ・ 複数の資料を関連付けて読み取り、分かったことを理由や根拠を示しながら、自分の言葉で表現するなどの言語活動の充実
  - ・ 児童が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動の計画的な実施
  - ・ 児童の気づきや疑問を生かす学習問題の設定

### 【算 数】

- ◎ 数学的な見方や考え方の育成を図るために、児童を問題解決の主体者とする算数的活動の充実を通して、「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりに努める。
- ・ 数学的な表現を用いて説明したり、伝え合ったり、書いたりするなどの言語活動の充実
  - ・ 児童の実態に応じた指導方法や指導形態を工夫改善するなどの少人数教育の充実
  - ・ 算数的活動を充実させるための知的好奇心を揺さぶる課題や発問の工夫
  - ・ 考えを引き出し、つなげ、表現を吟味し洗練しながら理解を深める展開の工夫

### 【理 科】

- ◎ 問題解決の能力や自然を探究する態度を育てるとともに、科学的な見方や考え方を育てる指導を工夫する。
- ・ 学習をまとめ、振り返り、学習内容の定着を図るとともに、日常生活や社会と関連付けて実感させる活動の工夫
  - ・ 観察、実験の結果を整理し、考察し、表現する言語活動の充実
  - ・ 仮説の設定や結果の予想など、目的意識をもって課題を追究する活動の充実
  - ・ 自然の事物・現象に対する関心・意欲を高め、主体的に問題を見いださせる教材や学習活動の工夫

### 【生 活】

- ◎ 児童が対象とのやりとりを通して、充実感、達成感、自己有能感、一体感などを感じ取ることができるような学習の展開を工夫する。
- ・ 気づきの質を高める言語活動の充実
  - ・ 身近な人々、社会及び自然と直接かかわる活動や体験の充実
  - ・ 伝え合い交流する学習活動の工夫
  - ・ 幼児教育との接続、他教科等との関連を図った指導の推進

### 【音 楽】

- ◎ 児童が音楽活動の喜びや楽しさを味わい、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、自ら進んで音楽活動に取り組むような指導を工夫する。
- ・ 共通事項を要として表現活動と鑑賞活動を関連させた指導の工夫
  - ・ 児童の協働的な学習を促し、音と言葉によるコミュニケーションを図る指導の充実
  - ・ 思考・判断し、表現する過程を重視した授業の工夫
  - ・ 音楽活動の質的な高まりにつながる言語活動の工夫

### 【図画工作】

- ◎ 児童が感性を働かせながら、造形的な創造活動の基礎的な能力を培うことができる授業展開を工夫する。
  - ・ 育成したい資質や能力を明確にし、個々の児童の思いや願いの具現に向け、自らテーマや材料、方法、手順等を選択、決定できる場や機会を適切に位置付けた題材の設定
  - ・ 表現と鑑賞の関連を図るとともに、諸感覚を働かせた能動的な鑑賞となるように活動を工夫し、発達に応じた適切な言語活動を位置付けた題材の設定
  - ・ 児童の主体的な学習の中で、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力が関連しながら働くような授業展開の工夫
  - ・ 形や色、題材などにかかわりながら共に学び高め合う学習としての指導の充実

### 【家庭】

- ◎ 家庭や地域社会との関連の中で生活をよりよくする能力と実践的な態度を育成するために実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を充実させる。
  - ・ 実践的・体験的な学習活動を通した、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を図る指導方法の工夫
  - ・ 日々の生活の営みの中から問題に気付き課題を設定して主体的に解決を図る問題解決的な学習とその振り返り活動の充実
  - ・ 感じ取ったことを自分の言葉や図表等を用いてまとめたり、その結果について考察し、自分の生活と結びつけて考えたことを発表したりする言語活動の充実

### 【体育】

- ◎ 活力あふれる健やかな体の育成に向けて、運動の楽しさや喜びを味わったり健康の保持増進に結び付いたりするような指導を工夫する。
  - ・ 「運動身体づくりプログラム」の効果的な実施や個に応じた課題の設定等導入段階の工夫
  - ・ 学習評価の充実を図るために、指導の改善に生かせる学習評価の工夫と評価計画の作成
  - ・ 各運動が有する特性に応じて、基礎的な身体能力や知識が身に付く指導内容の整理
  - ・ 知的活動を促す言語活動の工夫と身体を動かすことを通した言語活動の質的向上

### 【道徳】

- ◎ 道徳教育の「要」としての役割を踏まえ、道徳の時間における多様な指導方法を工夫し、よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成を図る。
  - ・ 児童が道徳的価値を自分との関わりにおいて捉えることができるような発問等の工夫
  - ・ 児童の道徳性に関する自己理解を図るための振り返りの在り方の工夫
  - ・ 生命の尊重、家族愛、郷土を愛する心等についての考えを深める指導の充実
  - ・ 他者への共感や思いやりについて児童が自分の考えを深めることができる情報モラルに関する指導の工夫

### 【外国語活動】

- ◎ 外国語で積極的にコミュニケーションを図りながら、外国語の音声や表現に慣れ親しむよう児童主体の授業を工夫する。
  - ・ 単元を見通した授業の設計や、ねらいを明確にした単元及び授業の構成の工夫
  - ・ 児童にとって「聞きたい」「話したい」という意欲がわく題材や活動の設定
  - ・ 言葉の面白さや豊かさ気付いたり、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さ、難しさの実感を促したりする言語活動の充実
  - ・ 教師自身が英語力の向上に努め、クラスルーム・イングリッシュを計画的に使用する授業の推進

### 【総合的な学習の時間】

- ◎ 探究のプロセス「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」を重視した学習過程を単元・授業の中で繰り返し設定し、主体的に問題を解決する資質や能力を育てる指導を工夫する。
  - ・ 問題の解決や探究活動の過程に体験活動や言語活動を適切に位置付けるとともに、他者と協同して取り組む学習活動の工夫
  - ・ 地域の協力を得たり全教師が一体となって指導に当たったりするなどの指導体制の工夫
  - ・ 学習して学んだこと、感じたこと、自分自身の変容、今後の取組等について、児童が自ら振り返ることができるような学習評価の工夫

### 【特別活動】

- ◎ 各学校の課題に基づき創意工夫を生かすとともに、児童による自主的、実践的な活動が充実するよう指導内容の重点化を図り、指導方法を改善する。
  - ・ 児童の自発的、自治的な活動を通じた話し合い活動の充実〔学級活動〕
  - ・ 異年齢集団による交流における自己肯定感・自己有用感の高揚〔児童会活動〕
  - ・ 異年齢集団における自発的、自治的な活動の展開〔クラブ活動〕
  - ・ 自然体験、社会体験、ボランティア活動などの活動の充実〔学校行事〕

### 【特別支援学級・通教指導教室】

- ◎ 児童の障がいの多様化を考慮し、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、それに基づいた指導と授業の充実を図る。
  - ・ 「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成・活用し児童の長期、短期の指導のねらいや方針を明確にしたきめ細かな指導の充実
  - ・ 特別支援学級等や通級指導教室との連携を密にした校内支援体制の整備と活用
  - ・ 通常の学級との積極的な交流及び共同学習を推進するための、計画的・組織的な集団活動の場の確保とねらいの明確化
  - ・ 必要に応じ特別支援学校のセンター的機能を活用した授業や支援方法の充実

## < 中 学 校 >

### 【国 語】

- ◎ 適切な言語活動を効果的に位置付け、各教科・領域等実生活で活用できる言語能力を身に付ける指導を工夫する。
  - ・ 身に付けたい言語能力を明確にし、課題解決に向けた言語活動の設定
  - ・ 自分の考えを深めたり、広げたりすることができる学習課題や発問、練り上げや交流の場の工夫
  - ・ 理由や根拠を明確にして自分の考えを表現することができる指導の工夫
  - ・ 言語活動の特徴を生かした評価規準の設定と評価方法の工夫改善

### 【社 会】

- ◎ 生徒の主体的な学習を通して、社会的事象を多面的・多角的に考察したり、公正に判断し適切に表現したりできる問題解決的な学習を一層充実させる。
  - ・ 社会的事象の特色や事象間の関連を説明したり、理由・根拠を伴って自分の考えをまとめ、意見交換したりするなどの言語活動の充実
  - ・ 課題意識や追究意欲を高める学習課題の設定
  - ・ 資料を選択し活用する学習活動の意図的・計画的な位置付け

### 【数 学】

- ◎ 数学的な見方や考え方の育成を図るために、生徒を問題解決の主体者とする数学的活動の充実を通して、「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりに努める。
  - ・ 数学的な表現を用いて説明したり、伝え合ったり、書いたりするなどの言語活動の充実
  - ・ 生徒の実態に応じた指導方法や指導形態を工夫改善するなどの少人数教育の充実
  - ・ 数学的活動を充実させるための知的好奇心を揺さぶる課題や発問の工夫
  - ・ 考えを引き出し、つなげ、表現を吟味し洗練しながら理解を深める展開の工夫

### 【理 科】

- ◎ 問題解決の能力や自然を探究する態度を育てるとともに、科学的な見方や考え方を育成する指導を工夫する。
  - ・ 学習をまとめ、振り返り、学習内容の定着を図るとともに、日常生活や社会と関連付けて実感させる活動の工夫
  - ・ 観察、実験などの結果を分析して解釈し科学的な概念を使用して考察する活動の工夫
  - ・ 仮説の設定や結果の予想など、目的意識をもって課題を追究する活動の充実
  - ・ 自然の事物・現象に対する関心・意欲を高め、主体的に問題を見いださせる教材や学習活動の工夫

### 【音 楽】

- ◎ 生徒が音楽活動の喜びや楽しさを味わい、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、主体的・創造的に音楽活動に取り組むような指導を工夫する。
  - ・ 共通事項を要として表現活動と鑑賞活動を関連させた指導の工夫
  - ・ 生徒の協働的な学習を促し、音と言葉によるコミュニケーションを図る指導の充実
  - ・ 思考・判断し、表現する過程を重視した授業の充実
  - ・ 音楽活動の質的な高まりにつながる言語活動の工夫

### 【美 術】

- ◎ 生徒が感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることができる授業展開を工夫する。
  - ・ 育成したい資質や能力を明確にし、生徒自ら「やるべきこと」、「やりたいこと」、「やれること」ができる場や機会を適切に設定した題材の工夫
  - ・ 表現と鑑賞の相互の関連を図った指導の工夫と〔共通事項〕を視点とした言語活動の充実
  - ・ 生徒が、自己の感性をもとに自信をもって表現や鑑賞の活動に取り組み、互いの表現のよさや個性等を認め合いながら活動できる場や機会の設定
  - ・ 伝統的・創造的な側面から、生活の中の美術の働きや美術文化についての理解を深める指導の工夫

### 【保健体育】

- ◎ 活力あふれる健やかな体の育成に向けて、運動の楽しさや喜びを味わったり健康の保持増進に結び付いたりするような指導を工夫する。
  - ・ 運動の特性に応じた補強運動の効果的な実施や、個に応じた課題の設定などの導入段階の工夫
  - ・ 発達の段階を十分に踏まえた指導内容の体系化と領域の取り上げ方の弾力化
  - ・ 学習評価の充実を図るために、指導の改善に生かせる学習評価の工夫と評価計画の作成
  - ・ 論理的思考を育む言語活動の工夫と運動従事時間を確保した言語活動の質的向上

### 【技術・家庭】

- ◎ 家庭や地域社会との関連の中で生活をよりよくする能力と実践的な態度を育成するために実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を充実させる。
  - ・ 実践的・体験的な学習活動を通した生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を図る指導方法の工夫
  - ・ 日々の生活の営みの中から問題に気付く、課題を設定して主体的に解決を図る問題解決的な学習とその振り返り活動の充実
  - ・ 感じ取ったことを自分の言葉や図表等を用いてまとめたり、その結果について考察し、自分の生活と結びつけて考えたことを発表したりする言語活動の充実

### 【外国語（英語）】

- ◎ 「見通す」「学び合う」「振り返る」学習活動を重視し、自律的学習者として主体的に学び続けようとする意欲を高め、コミュニケーションを目的として外国語を運用する能力の基礎を育てる指導と評価、授業の改善を図る。
  - ・ 生徒の実態に応じて英語で授業を進めるなど、授業で英語に触れる時間や機会の十分な確保
  - ・ 授業のねらいに応じて言語活動を設定し、具体的な場面や状況に合わせて自分の考えや気持ち、事実などを適切に伝え合う機会の設定
  - ・ 技能を統合して活用する言語活動の充実と言語活動を通して言語材料の確実な定着を図る工夫
  - ・ 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標に基づく指導と評価の実践

### 【道 徳】

- ◎ 道徳教育の「要」としての役割を踏まえ、道徳の時間における多様な指導方法を工夫し、よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成を図る。
  - ・ 生徒が道徳的価値を自分との関わりにおいて捉えることができるような発問等の工夫
  - ・ 生徒の道徳性に関する自己理解を図るための振り返りの在り方の工夫
  - ・ 生命の尊重、家族愛、郷土を愛する心等についての考えを深める指導の充実
  - ・ 他者への共感や思いやりについて生徒が自分の考えを深めることができる情報モラルに関する指導の工夫

### 【総合的な学習の時間】

- ◎ 探究のプロセス「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」を重視した学習過程を単元・授業の中で繰り返し設定し、主体的に問題を解決する資質や能力を育てる指導を工夫する。
  - ・ 問題の解決や探究活動の過程に体験活動や言語活動を適切に位置付けるとともに、他者と協同して取り組む学習活動の工夫
  - ・ 地域の協力を得たり全教師が一体となって指導に当たったりするなどの指導体制の工夫
  - ・ 学習して学んだこと、感じたこと、自分自身の変容、今後の取組等について、児童が自ら振り返ることができるような学習評価の工夫

### 【特別活動】

- ◎ 各学校の課題に基づき創意工夫を生かすとともに、生徒による自主的、実践的な活動が充実するよう指導内容の重点化を図り、指導方法を改善する。
  - ・ 生徒の自発的、自治的な活動を通じた話し合い活動の充実による集団生活の向上〔学級活動〕
  - ・ 異年齢集団による交流における自己肯定感・自己有用感の高揚〔生徒会活動〕
  - ・ 自然体験、社会体験、ボランティア活動などの活動の充実と活動を振り返る場の設定〔学校行事〕

### 【特別支援学級・通級指導教室】

- ◎ 生徒の障がいの多様化を考慮し、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、それに基づいた指導と授業の充実を図る。
  - ・ 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成・活用し生徒の長期、短期の指導のねらいや方針を明確にしたきめ細かな指導の充実
  - ・ 特別支援学級等や通級指導教室との連携を密にした校内支援体制の整備と活用
  - ・ 通常の学級との積極的な交流及び共同学習を推進するための、計画的・組織的な集団活動の場の確保とねらいの明確化
  - ・ 必要に応じ特別支援学校のセンター的機能を活用した授業や支援方法の充実

## < 教科 外 >

### 【生徒指導】

- ◎ 日常の観察や問題行動にかかわる諸調査による実態把握に努め、問題行動の未然防止や児童虐待等の早期発見、早期対応、早期解決に取り組む。
- ◎ 「新たな不登校を出さない」との認識のもと、初期対応の体制を整えるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー及び関係機関との連携を図るなどして、学校が一体となって個に応じた支援を行うことができるよう、校内のコーディネート力を高める。
- ◎ 発達段階に応じて情報モラルに関する指導の充実を図るとともに保護者への啓発に努める。

### 【キャリア教育】

- ◎ 児童生徒の発達段階等に応じ、学習と社会とを関連付けた学習活動を推進するとともに、自分の夢や希望を持ち、望ましい勤労観・職業観を形成・確立していく過程において適切な指導を行う。
- ◎ 学校全体で取り組むキャリア教育の推進組織・体制を整え、児童生徒のキャリア発達に対する情報を次の学年や学校に確実に引き継ぐ体系的・系統的な指導に努める。

### 【図書館教育】

- ◎ 学校図書館の学習・情報センターや読書センターとしての機能を意図的、計画的に活用し、児童生徒が主体的、探究的に学習活動や読書活動に取り組むことができるような指導や蔵書、資料等の整備充実を工夫する。
  - ・ 児童生徒の読書習慣の定着を図る読書活動の充実
  - ・ 学校図書館のより一層の活用が図られるような地域ボランティアや公共図書館との連携の工夫
  - ・ 情報収集や学習活動に役立つ蔵書や資料等の整備充実

### 【人権教育】

- ◎ 児童生徒が人権感覚を身に付けることができるよう、一人の人間として大切にされているという実感が持てるような指導を工夫する。
  - ・ 児童生徒一人一人が尊重されるとともに差別や偏見のない人権尊重の精神に立った学校・学級づくり、授業づくりの推進
  - ・ いじめは人権にかかわる重大な問題であり、人間として絶対に許されないという自覚を教師自身をもつとともに、児童生徒一人一人の自覚を促し、心に響く指導の充実
- ◎ 学校教育における諸活動を人権教育の視点から評価する機会を設けるとともに、保護者や地域からの評価等も取り入れる。

### 【環境教育】

- ◎ 各学校の実態に応じて、自然環境学習や地球温暖化防止活動等、身近な環境問題について児童生徒が主体的に考え、判断し、行動できる資質や能力を高める指導を工夫する。
  - ・ 環境教育関連の各種コンクール等を活用して地域の様々な自然を意識させる工夫
  - ・ 地域の自然環境等の教材化を図る工夫
  - ・ 家庭・地域・社会教育施設・民間団体等との連携を図り、児童生徒が学んだことを家庭や地域社会等における生活に生かす工夫

### 【情報教育】

- ◎ 情報化の進展に対応した教育を推進し、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度（情報モラル）をバランスよく身に付けた児童生徒を育成する。
  - ・ 児童生徒が主体的に情報を選択し、活用する能力の育成を図る工夫
  - ・ I C Tを利用する際の留意点等を学ぶ活動の充実
  - ・ 情報教育についての学習状況を知らせる等、家庭との連携を図る工夫

### 【国際理解教育】

- ◎ 自分の考えをしっかりとち、対話力を高めるための表現活動や場面を意図的に設けるなどして、グローバル社会に対応できる人材の素地作りに努める。
  - ・ 自国や地域の伝統や文化についての理解を深め、積極的にそれらのよさを発信しようとする態度を育てる指導の工夫
  - ・ 異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図り、多様なものの見方や考え方に触れ、それらを尊重する態度を育てる指導の工夫

### 【へき地・小規模学校教育】

- ◎ 児童生徒一人一人の特性を生かした教育活動を展開し、授業の充実を図る。
  - ・ 集団思考の場や児童生徒主体の話し合い活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力等の育成を重視した学習活動の展開
  - ・ 少人数学級の特性を生かした体験的な学習や問題解決的な学習の設定と、児童生徒が主体的に問題を解決していく力を育てるための学習過程の工夫
  - ・ 複式学級における個に応じた補充・発展学習や課題別学習等を取り入れた間接指導の充実

### 【健康教育】

- ◎ 健康・安全に関する課題の解決を目指し、教職員それぞれの役割を明確にするとともに各教科、道徳、特別活動等との関連が図られた指導計画を作成、活用し、学校教育活動全体で組織的に取り組む。
  - ・ 健康を保持増進するための実践力の育成と保健学習・保健指導の充実
  - ・ 危険を予測し、回避する能力の育成と生活安全、交通安全指導の充実
  - ・ ふくしまっ子食育指針(H28.3福島県教育委員会)に基づく、「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」の育成

### 【防災教育】

- ◎ 自らの命を守り抜く力の育成のために、地域の地理的・歴史的観点を踏まえた実状や児童生徒の発達の段階に応じて学校安全計画や各種指導計画等を改善するとともに教育活動全体を通じて取り組む体制を整備する。
- ◎ 主体的に考え判断し行動する態度や能力が身に付くよう、多様な場面を想定した学習の場を設定したり、災害に関する基本的な知識と防災に関する意識を高めたりする等指導方法を工夫する。

### 【放射線教育】

- ◎ 学校や地域の実態に応じた内容や時数を学校安全計画や学校保健計画等に位置付け、各教科等との関連を明らかにする等して、学校全体で計画的・組織的に取り組む。
- ◎ 文部科学省や県教育委員会の資料等を基にして放射線等の基礎的な知識や身の回りで行われている復興への取組を基に、自ら考え、判断し、行動する力を育む指導方法を工夫する。
  - ・ 放射線の利用や影響について、科学的な根拠を基に考えたり、判断したりする態度の育成
  - ・ 放射性物質を体に取り込まないようにするための方法や、放射線から身を守る方法を確実に身に付けさせる学習活動の工夫

### 【幼・小・中連携】

- ◎ 幼児、児童生徒の実態等を踏まえ幼稚園及び小・中学校との円滑な接続を意識した指導方法を工夫する。
  - ・ 幼稚園、小・中学校の各教育活動の相互理解や情報の共有化の推進
  - ・ 保育参観や乗り入れ指導、授業交流や合同研修等、校種間の連携や協力体制の構築
  - ・ 各園、各学校の実態を踏まえた効果的な連携の推進

### 【特別支援教育】

- ◎ 特別支援教育コーディネーターを中心とした教職員全員の専門的な研修やケース会議を積極的に実施し、学校（園）組織としての支援体制を確立する。
  - ・ 全教職員で支援する学校（園）内の支援体制の整備
  - ・ 「個別の教育支援計画」を作成・活用した幼稚園、学校、家庭、地域及び医療等の関係機関との連携の推進
  - ・ 「個別の指導計画」等を作成・活用した個に応じた指導の推進と指導法の工夫
  - ・ 必要な支援についての家庭との共通理解